

■■■ 理事からの新年の挨拶 ■■■

あけましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。

昨年、KFCでは、すべての事業をあわせると27人の外国にルーツをもつスタッフと23人の日本人スタッフがボランティアの力を借りて事業を進めることができました。KFCが、言葉ではなく本当の共生の道を歩めていることを誇らしく考えています。

今年は、うま年、私のルーツの朝鮮半島では一日に千里を走る伝説の馬、千里馬（チョンリマ）がいて縁起がよい年です。たくさんの人と千里馬でKFCが歩めればと思います。（理事長 金宣吉）

セヘ ポンマ〜ニ パドウセヨ

KFCの皆さま、あけましておめでとうございます。

昨年は消費税アップや秘密保護やもろもろで息苦しく年が過ぎてしまいましたね。

KFCでは休む暇なく、多くの事業をやりきり充実した1年を送ったと思います。

スタッフのみなさんに感謝したいと思います。今年1年また心を新たにして、ともに頑張っていきましょう。皆様のご健勝と活躍をお祈りします。（副理事長 李圭燮）

明けましておめでとうございます。

昨年はスタッフの皆さんやボランティアの皆さんのご協力のお陰で小規模多機能施設の開設やカンタービレコンサート等などの事業で成功を収めました。今年もこれまでの事業をより充実しながら新しい試みも実施していきたいと思います。KFC開設から17年、来年は阪神淡路大震災から20年という記念すべき年となります。定住外国人の数も年々増加の傾向があります。今年は馬の年、たてがみをなびかせさそうと駿馬のごとく、定住外国人が神戸にしっかり地を付けて生きられる社会を目指して今年も走りぬきましょう。

（副理事長 中村 通宏）

新年明けましておめでとうございます。2014年が皆様にとって良い年であることを願います。

国内海外ともに、最近の傾向として基本的人権である自由が損なわれていきつつあるような気がしてなりません。

言論の自由をはじめ、人は多くの自由を保障されてこそ希望の持てる人生を送れるのだと思います。

新年にあたり、人々が安心して生きていける社会が守られる事を強く願いたいと思います。

（理事 金東吉）

皆さま、明けましておめでとうございます。

教育の分野にも「生産性」と「効率性」の波が押し寄せています。どうしたらこの流れに抗えるのでしょうか？ 2014

年は、そんな空気を読まずにスルー、ホスピタリティ（先回りサービス精神）を発揮せず、面倒くさいことと向きあい、若い人たちの紆余曲折と成長を見守れる、“イチイチうっとうしい”自分をめざしたいと思います。今年もどうぞよろしく宜しくお願いいたします！（理事 野崎 志帆）

来年は日本の周辺で突発的な軍事衝突が起きる可能性が、この数十年でもっとも高い一年になると思います。こわいのは、そうなった時に、メディアや社会の雰囲気はどう変貌するかということです。平和とは失ってはじめて実感できるものなのかもしれません。私たちも、一時的な興奮に飲み込まれず、冷静で客観的な判断力を持ち得るかが問われるでしょう。このような懸念が杞憂に終わることを希望して、新年のご挨拶に替えたいと思います。

(理事 樋口 大祐)

昨年10月にグループホーム「ハナ」の1周年と小規模多機能型居宅介護ハナの開設があり、さらなる事業拡大がありました。それに伴い、運営の責任の重大性も増しています。今年も定住外国人の権利擁護のために、KFCの活動に貢献できるようがんばります。今年もよろしくお願ひします。

(理事 吉井 正明)

■■■KFC日本語プロジェクト■■■

◆「学習記録簿」講習会に参加して

地域日本語教室では、毎回、授業終了後に「学習記録簿」を学習者さんに書いていただいています。これは、今年度KFCが提唱し、大阪大学大学院教授の青木直子先生に指導・監修していただいているもので、学習者が自分の学習について自分で決めるという自己主導型の学習では大変重要なものです。

今回、青木先生から直接学習指導簿の目的や書きかたについてご指導いただける講習会に参加したので、その内容をご報告します。

KFCの学習記録簿では、「学習した日付／時間／場所／使用した教材／具体的にどのように学習したか／次はいつどこで何を学習するか／（その他自由記入）」を、1回の学習につきA4横1行で記入します。

例えば「9月1日／10時～12時／KFC／絵カード／カードをならべて文をつくる／今日の夜、家に帰って、KFCでつくった文をノートに書く／（なし）」などです。

学習記録簿には、学習者が行った勉強を全て記入していきます。したがって、別の教室に通っているならばそれも、家で自習したり、テレビを見て新しい言葉を勉強したりしたらそれも記入していきます。学習者が日本語を勉強した記録を全て記入していけば、日本語学習の「お薬手帳」のようなものができあがります。

ではこれにはどのような効果があるのでしょうか。第一に、学習内容が連携されます。他の日本語教室との連携や、家庭学習と教室学習の連携が可能になります。第二に、学習内容の振り返りができ、今後の学習計画に役立ちます。他の人のを見て参考にすることもできます。第三に、学習者が達成感を持ち、モチベーションアップにつながります。

ただしこれを学習者に書いてもらうにはいくつか工夫が必要です。第一に、記入に完璧を求めすぎないこと。最初は母語でもカタコトでも構わないので、その学習者が書ける範囲で書いてもらうこと。授業時間の終わりに書く時間を設けておくのは有効です。第二に、学習者にあまり目的意識がなく、学習計画に興味を持っていない場合は、「日本語が話せる私」をイメージしてもらい、そこから「どこで・誰と・何をしているとき（に日本語を話している）、その時の気分は」といった具体的なことを聞き出して、学習者の理想像を見つけるサポートをすること。第三は、とにかくやってみること。

大手語学学校にはよく「マイページ」で個人の学習記録を保存する仕組みがありますが、学習

記録簿はその簡易版といえます。また、応用として、最近はみなさんスマホを使っているので、フェイスブックやLINE上で手軽に記録し、「いいね」で交流したりするのもよいのではないかという意見がありました。

KFCではまだ取り組みを始めたばかりで、かつKFCの場合は学習記録簿を教室で保管しており、学習者がよそでした勉強を記録するようにはなっていないので、それも含めて今後の経過を見守りたいと思います。(安田 里美)

◆日本語教室／夜クラスで年賀状を書きました

地域日本語教室の夜クラス（月曜日・木曜日）は現在9名の学習者が参加しています。男性は3名、女性は6名となっており、女性1名がギリシャ人で他の方は全てベトナム人です。場所はシューズプラザで夜7時から8時半まで勉強しています。

第2・4月曜日は“生活日本語”の勉強の日となっており、12月の第2月曜日の9日は今年最後の生活日本語の日ということで、年賀状を書く勉強をしました。最初に、日本の正月にはどのようなことをしますか？どのような物を食べますかということを行いました。日本のお寺に行くというメンバーもかなりいました。食べ物については、日本の鏡餅の説明をしたところ、ベトナムでも同じようにバイン・テト（南部）／バイン・チュン（北部）という大きな“ちまき”を正月には食べるということを教えてもらいました。それは、水に漬けておいた餅米に味付けした豚肉や豆やバナナなどを入れラーソンという葉で丸く包んで茹でたものです。各地方により色々な作り方があるようです。次に、年賀状の作成に取り掛かりました。それぞれの支援者に送る年賀状で、支援者も学習者に送ります。半年前に暑中見舞いの葉書を書いたメンバーはスムーズに取り掛かっていましたが、初めてのメンバーもたくさんいて、自分の住所、相手の住所をどこに書けばいいのか、どのように書けばいいのかと戸惑っていました。裏面の正月のあいさつは、サンプルが“明けましておめでとうございます 本年もよろしくおねがいします”という文であったため、その通り書くメンバーが多かったのですが、それにベトナム語のあいさつを加えたり、絵を入れたりするメンバーもいました。支援者の指導・協力で住所・あいさつ文ともきれいな日本語で完成させることができ、学習者・支援者とも正月に送られてくる年賀状を楽しみに待つことになりました。

引き続き、教室で忘年会を行いました。サンドイッチ、ピザ、お菓子、飲み物を持ち寄り、学習仲間と和気あいあいと楽しく話をすることができました。後半にはナンバーコールゲームなどもして楽しみました。夜が遅く、働いている人がほとんどであり、普段はなかなかゆっくりと話ができる時間が無いため、この忘年会で今まで以上にメンバーの親睦を深めることができました。（ニュース係 川淵 啓司）

■■■KFC外国にルーツを持つ子どもの学習支援■■■

◆子どもたちの去年の思い出、今年の抱負、将来の夢

新年号！ということで、学習に来ている子どもに去年の思い出、今年の抱負、将来の夢を書いてもらいました。夢はない、という少し寂しい子もいましたが、今年も夢にむかって頑張ってもらえるような環境を充実させていけたらと思います。

○2013年の思い出

- ・話すの楽しかった。
- ・学校の修学旅行（2）

- ・日本
- ・ともだちとなかよくべんきょうしたこと
- ・カードがおもしろかった
- ・奈良に行って授業でならったことがもっとわかった
- ・部活をがんばった
- ・全てが楽しかったこと
- ・ロシアに帰ったこと
- ・べんきょうができた
- ・フィリピンへかえって、いとことあそんだ
- ・ベトナムにいてホテルでディズニーのピーターパンとシンデレラをみた
- ・おたんじょう日会のときに友だちがいっぱいきたからうれしかったこと
- ・カンタビレ・コンサートに行ったこと
- ・あおいうみ。ホテルでおいしいしょくじたのしいプール。ままと沖縄いったホテル
- ・右手の中指二本をケガしてしまって、いたい思いをして少し不自由だった。今年の音楽会で楽器がグランドピアノだったこと！
- ・なつのこうりゅう会が楽しかった
- ・日本にかえってくることに
- ・家の人となら公園に行った。しかせんべいを買ってしかにあげました。おいしそうに食べていた。
- ・歯のきょうせいをしなければならなきゃだめ事件
- ・がっこうで水ぞくかんに行ったたのしかった
- ・友達がたくさんできた
- ・S先生にあえたこと
- ・たのしいおかしと楽しい勉強ができた
- ・中学の新しい友だちと宿はくけんしゅうにいったこと
- ・部活の中のパートリーダーになった
- ・先生達と友達一緒に勉強して、とても面白かった、楽しかった。同時に、たくさん勉強しました
- た
- ・いろいろがあったけれどもchristmasEve
- ・K F Cの交流会が楽しかったです。いろいろなことがあった。楽しかった
- ・金閣寺を訪れたこと
- ・文化祭、合唱に初めてさんかしたこと
- ・お兄ちゃんとおわじの海でおよいだこと。
- ・ぜんぶたのしかった
- ・U S Jに行ったこと。
- ・はじめてR先生にあったこと
- ・野外活動
- ・去年より日本語が上手になったと思います。
- ・Kさんとおはなしできたこと。
- ・須磨区大会で優勝したこと。
- ・うみにいった。
- ・きゃんぷにいったことがたのしかった。
- ・初めてバスケットボールをした

・今年の思い出は、中学生になって初めての体育会でした。クラスの皆と力をあわせて、男女W優勝と総合優勝をすることができました。

・今年は、中学2年生になったので、勉強をがんばろうと思いました。おかげですぐに結果は出なかったけど、50点も取れなかった国語のテストがなんと80点を取れるようになりました。

○2014年の抱負・目標

- ・さんすう。
- ・勉強(2)
- ・字をきれいにかく
- ・おかねをちょきんする
- ・テストで200点いじょうとる
- ・えをかく時間をたくさんとる
- ・中間と期末テストで10位以内に入る
- ・めげずに部活をがんばる
- ・笑う。中学のテストをがんばる
- ・バスケ
- ・高校に受かる(2)
- ・英語をがんばる
- ・漢字をおぼえる
- ・春にベトナムにいてプールつきのマンションにとまってプールでおよぎたい
- ・勉強やならいごとをがんばる
- ・算・国をがんばる
- ・スポーツで1とうしょうになりたい
- ・勉強をがんばる!!家の手伝い、しっかりする。たくさん発表する。
- ・4年生になったら音楽会でピアノをしたい
- ・高校入学
- ・算数のかけ算のひっ算をがんばりたい
- ・絵をしたいこと。
- ・さんすうができるようになりたい
- ・テストで100点を取る
- ・べんきょうをがんばる
- ・がんばりたいことは、勉強!コミュニケーション
- ・テストをがんばる!!
- ・英語と数学をがんばる ・もっと勉強する
- ・日本語をもっと勉強したいです
- ・もっと日本語を習います
- ・日本人の友達ができたらいいと思います。
- ・ショートを守りたい(もっとれんしゅうをする)
- ・理科のけんきゅう ・今は特にない
- ・日本語ががんばりたいです
- ・兵庫県立工業高校に推薦を受けて入学する。
- ・テストで高得点を取りたいです。
- ・理科の勉強を頑張る

- ・しょしゃをガンバル ・しあいにてたい
- ・日本語をちゃんとできるようになって、数学にもっと力を入れたいと思います。
- ・来年の目標は1年生の時よりも良い成績をとる。
- ・来年は受験生になります。希望高校はもう決めたので、それに向けて、エンジンをかけたいと思います。ニガテな数学を克服したいです。

○将来の夢

- ・社長
- ・保育士
- ・家をつくること
- ・けいさつかん（2）
- ・錦織圭と試合する
- ・サンクスの店員
- ・看護師さん
- ・NBAに出ること
- ・サラリーマン
- ・歌手・ドラマー
- ・絵をかく人
- ・アメリカキャットフードをねこのしょくじにする。なまえ「HP Pi」にします
- ・ケーキ屋さんになること
- ・あまさん（仏）か声優
- ・しょうぼうしかせいそうきょくでごみしゅうしゅうする人になりたい
- ・お母さんを楽にさせたい。
- ・パティシエ
- ・医者
- ・動物のしいくいんになりたい
- ・ファッションデザイナー、ファッションプロデューサーなど
- ・先生になりたい（3）
- ・りょうし
- ・モデル
- ・デイズニー
- ・（パイロット）
- ・まんがか
- ・ない
- ・美容師か音楽系の仕事
- ・よい大学へ行って、良い生活をする
- ・スポーツ選手Hot Rac
- ・シェフか美容師になりたいです
- ・アメリカにいきたい
- ・会計士になりたい
- ・プロ野球選手になる（2）
- ・いっぱいある
- ・考え中

- ・先生になりたいです。
- ・かんさいモーターではたらく
- ・英語をペラペラにしゃべれるようになる。
- ・うちゅうひこうし
- ・今は良くわからない
- ・私の夢はアイドルになることです。アイドルになって、みんなに笑顔を届けたいです。
- ・私の将来の夢は通訳になることです。でも通訳の道はとても難しくてあきらめようとあこがれます。もう一つの夢はお金を稼ぎ世界一周の旅をしたいです。

◆「はいず」交流プログラム 「アフガニスタンとイスラム教について知ろう！」

11月30日（土）に「はいず」交流プログラム「アフガニスタンとイスラム教について知ろう！」を開催しました。

KFCと賀川記念館の共催で開催している学習教室「はいず」の学習者であるマハマドゥ ダウ シャヒナさんにお話いただきました。息子さんも「はいず」の学習者です。息子さんの子ども多文化共生サポーターをされているアンワール イグバルさんの通訳を通して、学習者でもあり、保護者でもあるシャヒナさんの貴重な思いなどもお聞かせいただき、お茶を飲みながらの和やかな雰囲気な中、大変有意義な交流会になりました。

以下はお話の概要です。

「私は、2年前に連れ合いの車販売の仕事のため来日しました。最初は、言葉はわからず、家族と離れて寂しかったですが、今は随分慣れ、最初に比べると安心して生活できています。現在は息子が2人います。

アフガニスタンは、約98%がムスリムで、豚肉やお酒を摂取することは禁じられており、鶏肉や牛肉はHALALフードと言われる一定の作法で処理されたもののみ摂取してもいいことになっています。2人の息子のうち1人は小学生なので、給食は毎月献立表を見て、食べられるものと食べられないものを「はいず」の支援者にチェックしてもらっています。油も植物性のものでなければならぬのですが、そこまで調べられないので、先月は2回だけしかおかずは食べられませんでした。給食については、学校の先生も周りの子どももよく理解してくれているので、間違えて食べることはありません。しかし、息子が「なんで自分だけ食べたら駄目なのか」と聞いてくることがあり、宗教的な理由だと説明をしますが、まだ1年生と小さいため理解させることは難しいです。11歳になると宗教の教えを厳しく守らなければいけないので、宗教教育をしなければならないですが、大きくなったら心配です。宗教的行事で一番大きいのはやはりラマダンの、日中の食事が禁止されているだけではなく、音楽を聴くことやパーティをすることも禁止されています。

アフガニスタンはお金があってもなくても、長い戦争状態のため安全ではなく生活が不自由で、教育を受けることも仕事を得ることも難しい状況にあります。小学校で終了する人が多く、大学に行く人は珍しいです。政治、経済、宗教など日本とは全く違うので、日本人が理解するのは本当に難しいと思います。

日本では宗教を守って生活することが難しくないこともあり、子どもは安全な日本で育てたいと考えています。小学校の息子の学習面やクラスメイトに迷惑かけていないかなどを心配していますが、小学校には楽しく通っているので安心しています。」

(志岐 良子)

◆まちの文化祭

2013年11月24日（日）神戸市地域人材支援センターで「まちの文化祭」が行われ、私たちKFC帰国者新長田交流会は、宗景正さんの「帰国者の写真展」と張雨均さんの「切り絵」と太極拳の舞台出演で参加しました。「写真展」は中国「残留孤児」国家賠償請求で神戸地裁で勝訴となった裁判時の写真です。

張さんの切り絵は、実演も交え、廉価な価格で販売しました。それぞれに好評を得ましたが、今回は紙面の関係上、30名ほどの応援部隊も駆けつけてくれた太極拳演舞の裏話を紹介します。

帰国者交流会で太極拳を始めて以来2年8か月、秋山義治さん、鶴田和子さんの指導のもと練習に励み、その集大成として「まちのぶんかさい」に出演することになりました。

1か月前に22名の演舞者を選出し、特訓が始まりました。まだ発表の24式の型をしっかりと覚えきれていませんでしたが、なかなか特訓に身が入りません。隣の人を見ながらできればいいかという程度でした。

そんな中、秋山さんが急遽入院することとなり、練習日も残り1,2回しかないことがわかりました。力を発揮したのはそれからです。

隣を見ないでできる人は約3名。泣いても笑っても後3週間！自主練習が始まりました。音楽も一般の練習用ではなく舞台用のヒーリング音楽です。

出演服を持ってる、持っていない、秧歌の服でいいよ、いや大きすぎる、私のサイズがない云々。

それでも練習日以外でも有志で練習し、型ができるだけではなく、出演者全員が音楽に合わせ、息を合わせ見ごたえのあるものにしなければなりません。

そしてついにリハーサルの日には鶴田さんのO.K.サインが出ました。「では当日楽しみにしています。」ということばで送り出してくれました。

でも演舞者は戦々恐々です。本番は1時55分開始ですが、12時に集まって練習しようということになりました。

12時に集合し十分な練習を行いました。各々自信がつき、後は本番まで悠々と過ごしました。記念写真も先に撮ってしまうほどです。

皆さん、見ていただけましたか。秋山先生、鶴田先生、見ていただけましたか。秋山さんは入院中の病院から駆けつけてくださいました。

こんなに力を合わせ、がんばれたのは、先生方に感謝の気持ちを伝えたかったからです。私たちは精一杯演舞しました。

その後の交流会では自分たちで太極拳をするようになりました。先生方は12月10日をもって指導を終了されました。

長い間どうもありがとうございました。（奥 優伽子）

■■■ ハナの会 ■■■

◆初めての遠足

12月18日（水）、12月20日（金）の二日間、ハナの会のクリスマス会を行いました。スタッフがまず頭を悩ませたのがサンタクロースからのプレゼントです。ハナの会では毎年、韓国の靴下ですが、事前に利用者様からリサーチした結果、「毎年靴下ばかり・・・」とおっしゃる利用者様もいれば、「今年も靴下でいい！」と声もありました。色々悩んだ末、家でもデイでも使える温かいひざ掛けに決まりました。

クリスマス会当日、午前中はいつも通りの日課で過ごし、お昼の休憩後14時からクリスマス会が始まりました。今年の司会は、今年の4月からデイの看護師の林（イム）がチマチヨゴリを着ま

した。少しふくよかなのでマタニティードレスのようでした。最初のプログラムはデイでいつも美味しい料理を作ってくれる趙さんのバイオリン演奏です。利用者様も静かに耳をすませバイオリンの音色に酔いしれていました。2番目に登場されたのは三味線演奏の柴切鶴吉さんです。87歳にとは思えないほど元気で利用者様のよく知っている歌を演奏してくださいました。3番目は歌手の山下先生です。迫力のある歌声で日本の演歌を熱唱してくださいました。最後に水曜と金曜にわけて黄さん母娘がチャンゴと韓国の民謡を演奏してくださいました。利用者様もマイクを持って熱唱したり、手拍子や席を立てて踊りはじめる方もおられました。

次に理事長がサンタに扮してクリスマスソングに合わせて登場し、ビンゴゲームとじゃんけんゲームが行われました。子どもに戻ったような瞳でサンタからのプレゼントを受け取っておられました。

最後に美味しいケーキとシャンパンではしゃいだ疲れを癒しました。ノンアルコールでしたが、とても満足されていました。

2013年のクリスマス会が無事終了しました。今年も1年利用者様が元気で過ごされ、クリスマスを迎えられたことに感謝いたします。

利用者様の益々の健康を願って「メリークリスマス！！」 (鮑 少君)

■■■ グループホーム ハナ ■■■

◆入院して気づいたこと

人生2度目の入院生活を送りました。それは突然の事でした。

身体は元気・・・でも、耳は聞こえない・・・。

初日はノー天気な私でも緊張していたのか？深夜の物音に敏感に反応して何度も目が醒めました。

ナースさんに「よく寝れましたか？」と聞かれるが「物音に目が醒めて、誰かが転倒したかとドキドキして・・・」と答えると「職業病やね・・・」と笑われました。

同室となった方々と沢山お話をしましたが、「食べて寝るだけやね～」と。これはグループホームでもよく耳にする言葉でもありました。ほんとにその通りで「食べるだけが楽しみ」でした。薬の副作用もありますが、日々500gづつ成長をしまいこのままいけば退院までに7kgも成長してしまうと自分なりに食事制限を行いましたが、結局は0kgも成長しました。

看護学生さんの実習があったようで、指導ナースの言葉に耳を傾けると「自分主体で看護をしてはダメよ。患者さんが主体である事を忘れないように」と言っていました。これは介護現場においても常々利用者が主体であると言っているが、つついスタッフ主体であったのではないだろうかと反省しました。初々しいナースの卵さんたちは、言葉一つケア一つにおいてとても丁寧な対応をしていましたが、なにより病棟の師長さんをはじめナースさんたちはとても丁寧な対応で見習う所が沢山ありました。

活動制限のない入院生活でしたので、自由に動いていたので外の空気を吸ったり、売店で雑誌を購入したりできていましたが、閉ざされた空間だと息を詰まるだろうなと思うと、グループホームの利用者さん達も出来るかぎり外出の機会を持って季節感を味わって頂きたいなと感じました。(星野 敬子)

■■■ 今後の予定 ■■■

■ベトナム人高齢者支援事業

1月23日(木)

於 デイサービスセンターハナの会

■日本語学習支援者研修会

2月15日(土) 13時～16時半

「神戸における日本語教室の連携のあり方を考える」

青木 直子 (大阪大学大学院教授)

松田 高明 (神戸市市長室国際交流推進部部長)

福田 淑慧 (KFC日本語コーディネーター)

於 (公財) 神戸国際協力交流センター

■デイサービスセンターハナの会9周年

1月11日(土) 於 デイサービスセンターハナの会

■新春交流会

(中国残留邦人帰国者&ベトナム人高齢者)

2月4日(火) 13:00～15:00

■こうべプレスクール

1月11日(土) ～3月15日(土) 全8回 於 多文化子ども共育センター(moi)

■「在日外国人高齢者支援」報告会

2月22日(土) 18:00～20:00

於 ピフレホール会議室A